

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター・児童館施設維持管理及び運営				整理番号	458		枝番号							
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	370					
係名				管理係				上位施策名		No						
予算事業名				児童館等維持管理		コード	44050		子どもの育成環境の整備		28					
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		41 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体								活動指標名(式)				(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 施設運営における事務用経費の執行事務 センター及び児童館職員の研修、物品貸し出し、事故対応				成果指標名(式)				(1) 一日あたり平均利用者数 = 利用者数 ÷ 開館日数 (2) 年間修繕件数(センター及び児童館)			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				・適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とする。 ・運営に中高生の意見等を反映させる。 ・センター及び児童館職員の資質を向上させる。												
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
							計画		実績		16年度					
指標	活動指標(1)		人	1,124,562		1,140,145		1,266,600		1,165,349		1,281,883		1,398,418	83.3	
	活動指標(2)		日	13,415		13,988		13,987		13,799		13,800		13,987	98.7	
	成果指標(1)		人	84		82		91		84		93		100	84.0	
	成果指標(2)		件	281		217		250		259		230		230	112.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	386,181		389,354		369,866		362,982		395,224		特記事項		
	(内)委託費		千円	132,944		139,662		132,979		127,907		130,462				
	職員数(正規 非常勤)		人	99.90	38.60	99.90	38.60	99.40	38.60	98.70	38.60	99.90	38.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907,392		907,392		902,850		896,492		907,392			
		非常勤職員分		千円	113,291		113,291		113,291		113,291		113,291			
	総事業費 + +		千円	1,406,864		1,410,037		1,386,007		1,372,765		1,415,907				
	単位あたりコスト ÷		円	1,251		1,237		1,094		1,178		1,105				
	財源	受益者負担分		千円	50		2,178		1,302		2,190		1,840			
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円	50		2,178		1,302		2,190		1,840			
差引:一般財源 -		千円	1,406,814		1,407,859		1,384,705		1,370,575		1,414,067					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.2		0.1		0.2		0.1					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年 = 11館、昭和55年 = 30館、平成2年 = 40館、平成12年 ~ 41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されている。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されている。児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面では排水管の詰まりによる悪臭、冷房設備の不足といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けている。また、障害児の利用しやすい環境整備も求められている。													
	今後の予測		センターの施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増える。運営についても中高生の安全な居場所確保の重要性は増す。また、児童館は順次古い館からの建替え若しくは大規模修繕が必要である。更に、多様化する区民ニーズに対応できる環境整備が必要である。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	92.0	活動指標(2)の14年度達成率%	98.7	14年度予算執行率%	98.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	施設の老朽化に伴い修繕の必要性は増加しており、節減は困難である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	14年度は緊急度・重要度の高いもの・水回りを中心に修繕を進めた。 15年度より、特色ある児童館運営の実現が課題となっており、障害児・乳幼児親子の利用しやすい環境整備が必要である。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 少子化や遊び場の減少が進む現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要である。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高い。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由: 地域で幅広い層の児童(幼児から中高生まで)を対象とした健全育成事業は他に実施している機関等がないため、区で行う必要がある。今後の行政に対しては、養育困難家庭への対応や地域子育てネットワーク事業など、地域における子どもと家庭を支える役割が求められている。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加 ▼	理由: 41児童館・6単独学童クラブを段階的に修繕・改築することで施設の適正な維持管理が可能である。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であるため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由: 施設管理業務については、現状どおり民間会社に委託する方法が効果的である。また、児童館設置予定数は44館であるのに対し、現在41館であるが、用地取得及び建設費用を考えると、現在老朽化が進んでいる施設の改修に経費を当てる方が適切と思われる。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他) ▼	理由: 光熱水費等の削減によりランニングコストを低減する。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 施設管理費のうち、修繕費については経年劣化により年々増加していくと考えられる。安全性・快適性の向上を図る観点から、計画的に改修等を実施するため、営繕課とのやりとりの中で計画を進めていく。 安心して子育てができるまちづくりや地域ぐるみの子育ての実現のため、児童館職員の専門性を高める研修等の実施を進める。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 大規模な改修費の確保は現在の財政状況のなかでは困難である。しかし、改修を計画的に実施することによりコストを抑えることが可能である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 緊急度・重要度の高い修繕が増加している。また、障害児や乳幼児親子が安心して快適に過ごせる環境整備にむけて、小規模修繕により対応可能なものについては積極的に施設整備を進める。 特色ある児童館づくり・地域での子育てを支える児童館づくりにむけて、職員研修・担当者会等を実施していく。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館ボランティア運営				整理番号	459		枝番号				
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	371		
係名				運営指導係				上位施策名		No			
予算事業名				児童健全育成事業		コード	43550		地域子育て支援の充実		26		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		63 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館ボランティア登録要領 (3)						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他								
	児童館のボランティアとして活動している個人、団体及び今後活動を希望する区民												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)								
講座などを通じてボランティアを育成し、登録制度により児童館の活動につなげる。14年度、実技講座2回、子育て支援ボランティア講座2回、学童クラブ通所支援ボランティア講座4回実施した。15年度は通所支援ボランティアの育成に重点をおき、通所支援説明会2回、講座1回、交流会1回を開催予定。				(1) ボランティア登録者数 (2) ボランティア講座受講者数									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)									
ボランティアを志す人に必要な知識を付与することにより、実際にボランティア活動に取り組んでもらう。				(1) ボランティア講座受講後、ボランティア活動をした人数 (2) 活動者率=活動者数÷講座受講者数									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	16年度						
指標	活動指標(1)		人	1,049	962	1,100	1,114	1,100	1,100	101.3			
	活動指標(2)		人	147	158	120	116	60	60	193.3			
	成果指標(1)		人	30	20	20	15	10	10	150.0			
	成果指標(2)		%	20	13	17	13	17	17	76.5			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	167	154	163	156	153	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15 0.10	0.15 0.10	0.15 0.10	0.15 0.00	0.15 0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,362	1,362	1,362	1,362				1,362	
		非常勤職員分		千円	294	294	294	0				0	
	総事業費 + +		千円	1,823	1,810	1,819	1,518	1,515					
	単位あたりコスト ÷		円	1,738	1,881	1,654	1,363	1,377					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0	
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0	
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	1,823	1,810	1,819	1,518	1,515						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		身近な地域でボランティア活動ができる良さがあり、登録者も1,000人を超えている。学生のボランティア以外は、地域のつながりを基盤としたボランティアが多い。活動内容が子育て支援ボランティア、障害児サポートボランティア、学校から学童クラブへの通所支援ボランティア、児童館事業支援ボランティア等多岐にわたってきた。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「子どもと知り合いになり、地域で会うと子どもから声をかけてくれて嬉しかった。」「実技講座で体得したことを、地域で活かしたい。」「講座を受けて、子育て支援ボランティアを仲間とやってみたいと思う。」等の意見や、障害児の学童クラブ通所の支援を求める要望は多い。										
	今後の予測		様々な分野におけるボランティアの発掘・育成が必要である。今後、区民・NPOとの協働における担い手となっていく可能性がある。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	101.3	活動指標(2)の14年度達成率%	96.7	14年度予算執行率%	95.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	講師を一回分課内職員で行ったため、節減になった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成15年度学童クラブ通所支援ボランティア制度立ち上げに伴い、障害児サポートボランティア講座、通所支援ボランティア育成講座に切り替え、経費節減を図った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: ゆうキッズ事業への子育て支援ボランティア、障害児の学童クラブ通所支援ボランティア等地域の身近な人の協力が得られ、区民ニーズに合った事業展開が図れた。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由: 児童館ボランティアの活動支援や登録は、ボランティアのニーズを直接くみ取り、事業等に反映させるという観点から児童青少年センターが行う。しかし、全区的な啓発等は、杉並NPO・ボランティア活動推進センターでの実施が可能である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由: 小学生を対象としたプログラムリーダー・グループリーダー的なボランティア活動だけでなく、子育て支援や障害のある子ども支援等ボランティア活動の領域を広げる。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 講座に必要な材料費等は、参加者負担になっている。見直し余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか できる(改革案の概要へ)	理由: 障害のある子ども達の学童クラブ通所支援や児童館利用促進を推進することにより、ボランティアの活動領域を広げる。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(事業の統廃合)	理由: 障害児サポートボランティア育成講座と障害児学童クラブ通所支援ボランティア育成講座を一本化する。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ゆうキッズ事業先行館や障害のある子どもの利用促進重点館を中心に、ボランティア活動の領域を広げる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 障害のある子どもを支援するボランティアの人材確保が難しい。児童館と共に各地域で人材発掘し、児童青少年センターで育成する。また、ボランティア活動の具体的な情報を区民に提供し、人材発掘の一助にする。 障害のある子どもを対象にした事業が不十分なので、障害児の利用促進重点館10館を中心にプログラムの開発に努める。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	平成15年度学童クラブ通所支援ボランティア制度立ち上げに伴い、障害児サポートボランティア育成講座と通所支援ボランティア育成講座を一本化し、経費節減を図る。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター事業				整理番号	460		枝番号	1			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	372		
係名 事業係					上位施策名					No			
予算事業名 児童健全育成事業					コード	43550		子どもの育成環境の整備			28		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 児童福祉法第1～4, 7, 35及び40条								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在学の中・高校生及び同等世代の青少年				(2) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 中・高校生の居場所としての環境を整え、各分野における自主的・主体的な活動を支援する。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 自由な居場所として施設を活用しながら、仲間との交流や自主企画事業の実施を通じて、自主性・社会性を身につけ、自己実現を図る。				成果指標名(式)								
		区分	単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
								計画	実績		16年度		
指標	活動指標(1)		回	390		366		370		382	380	380	100.5
	活動指標(2)		人	374		381		380		291	290	290	100.3
	成果指標(1)		人	4,538		4,148		4,200		4,272	4,200	4,200	101.7
	成果指標(2)		人	125		64		65		16	15	15	108.0
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,654		4,404		4,472		3,968	5,109	特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0					
	職員数(正規 非常勤)		人	10.80	7.00	10.80	7.00	10.80	7.00	9.80	8.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	98,096		98,096		98,096		98,096		89,013
		非常勤職員分		千円	20,545		20,545		20,545		20,545		23,480
	総事業費 + +		千円	123,295		123,045		123,113		122,609	117,602		
	単位あたりコスト ÷		円	316,141		336,189		332,738		320,966	309,479		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0
差引:一般財源 -		千円	123,295		123,045		123,113		122,609	117,602			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		少子化により対象人口が減少するなか、平成9年9月開設以来6年間、年間利用者総数は67,000人前後で推移している。さらに、中・高校生について見ると、6年間で約4万人の人口減に対し、年間平均約5万人前後の利用者数を維持しており、利用率の相対的な増加傾向が続いている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		中・高校生から次のような意見が寄せられている。「あまり干渉されずに自由に過ごしたり、音楽、スポーツ、ダンスなど好きな活動に打ち込める」「講座の内容もリクエストに答えてくれて、アカペラやボイストレーニングなど新しいものを取り入れてくれるのがうれしい」「グループや中高生委員会等で考えた自主企画が実現でき、手ごたえを感じる」										
	今後の予測		中・高校生にとっての自由な居場所、活動の拠点としての役割は、今後も増していくものと思われる。とりわけ、自主グループの育成や自主企画支援の強化が求められる。また、不登校やひきこもり等の個別課題を抱えた対象者へのケア-について、多様な中・高校生の受入れが可能な数少ない社会的施設として、その期待が高まるものと予測される。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	103.2	活動指標(2)の14年度達成率%	76.6	14年度予算執行率%	88.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	講習会、講座等の既存事業を精査し、利用者ニーズの低いものを取りやめるなど、スクラップに努めた。一方、自主企画については、小規模であっても可能な限り育成に努めた。その結果、自主企画事業は増加したため活動指標(1)のとおり総事業数に減少はないが、成果指標(2)のとおり、1事業当りのスタッフ数は減少している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	(1)目的内登録団体の登録数が前年比40%増となり、自主グループによる利用が活発になった。(2)自主企画事業への支援や中・高校生の企画運営への参加促進に取り組んだ結果、規模は小さいながら多様な事業が数多く実施された。(3)運営委員会と地域中・高校生委員会との関係では、ゆう杉並を見学してきた地域委員会を運営委員が案内し意見交換をしたり、全7地域委員会と合同の研修合宿をもつなどして、連携と交流を進めることができた。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:中・高校生の居場所として利用は活発化し、自主的活動の充実も見られ、子どもの育成環境整備への貢献度は大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:学校5日制の進行、不登校やひきこもり、青少年の問題行動や犯罪の深刻化等の状況のなか、他の自治体からの視察や見学、職員研修の受入れ等の要請が後を絶たない状況である。青少年の居場所づくり、健全育成施策として全国に先駆けて取り組んでいるものとして、継続すべきと考える。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:材料費等の自己負担はすでに実施済み。施設利用料の徴収等は、自由な居場所の提供、自主活動の推進といった施策目的達成の妨げになる。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:児童、青少年の健全育成や社会参加が時代の要請になっている現在、中・高校生を対象とした積極的な取り組みとしてさまざまな方面から注目、評価を受けている事業として、対象の縮小や変更は不適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:事業実施にともなう物品使用等のコスト減についてすでに取り組んでいるが、各種設備や機材の消耗、経年性の故障も多く、現状の水準維持に苦慮しているのが実情である。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 自主活動推進の指標のひとつである登録グループ数の増加を目標にし、団体利用のさらなる活発化を図る。自主企画的な取り組みについて、規模の大小にかかわらず支援する姿勢を継続する。中・高校生運営委員会への支援を強化し、自立的な会運営のための力量をあげるとともに、施設運営への意見表明や参画の取り組みを充実させる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性 大幅増 増 増減なし 減 大幅減 予算なし					
	(2) 理由 潜在的な利用者を意識した事業PRや情報発信に取り組み、より広範な中・高校生の利用を促す。さらに、多様な子どもたちの居場所としての機能を実現するため、障害児や不登校・ひきこもり等の対象者への働きかけを模索する。日々の運営のなかにおける中・高校生たちとのコミュニケーションを重視し、居場所としての整備に努めるとともに、多様な活動展開の糸口を見逃さない対応を心掛ける。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域中高生事業				整理番号	460		枝番号	2			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号			
係名				運営指導係				上位施策名		No			
予算事業名				児童健全育成事業		コード	43550		子どもの育成環境の整備		28		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 児童福祉法				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則				
	区内在住、在学の中・高校生								(3) 杉並区地域中・高校生委員会設置要領				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				中・高校生の地域における居場所づくり、意見表明、社会参画の実現を目的とした地域中・高校生委員会を7か所の児童館に設置し、委員によるより使いやすい児童館のあり方の検討、自主企画、児童館と地域団体の共催事業への参画等を実施するとともに、委員会の要望に基づき運営の改善や中・高校生対象の事業に取り組む。				活動指標名(式)		(1) 委員会延べ参加者数		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				中・高校生が児童館を居場所や自主活動の拠点として活発に利用するとともに、意見表明や社会参画に意欲的に取り組み、自主性や社会性を高める。				成果指標名(式)		(1) 自主企画及び中・高校生対象事業参加者数(全児童館)			
								(2) 委員会自主企画及び中・高校生対象事業実施回数(全児童館)					
								(1) 自主企画及び中・高校生対象事業参加者数(全児童館)					
								(2) 中・高校生児童館利用者数(全児童館)					
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度				15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
					計画		実績			16年度			
指標	活動指標(1)		人			560		487		560	560	87.0	
	活動指標(2)		回			700		760		800	900	84.4	
	成果指標(1)		人			5,500		5,500		6,000	6,600	83.3	
	成果指標(2)		人			33,000		31,576		35,000	40,000	78.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円			1,689		1,363		2,013	特記事項		
	(内)委託費		千円			0		0		0			
	職員数(正規 非常勤)		人			6.50	1.00	2.80	1.00	6.80			1.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	59,040		25,432				61,764
		非常勤職員分		千円	0	0	2,935		2,935				2,935
	総事業費 + +		千円	0	0	63,664		29,730		66,712			
	単位あたりコスト ÷		円			113,686		61,047		119,129			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0				0
差引:一般財源 -		千円	0	0	63,664		29,730		66,712				
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		初年度77名の中・高校生が委員として活動し、自主企画事業を実施するとともに、中・高校生にとって使いやすい児童館のあり方の検討を行う等成果があった。また、要望にこたえ15年度、音楽器材の購入や中・高校生が7時まで利用できる時間の設置など運営の改善を実施している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		青少年委員が協力員として活動に関わっているが、事業への評価は高い。委員の保護者からも、参加できてよかったという声が寄せられている。										
	今後の予測		中・高校生の育成や社会参画についての関心は高く、中・高校生自身の要望にこたえながら、居場所づくりや自主活動、地域の中での活躍の機会等を広げていくことが求められている。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	87.0	活動指標(2)の14年度達成率%	108.6	14年度予算執行率%	80.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	14年度より実施しているため、前年度改革案はない。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 中・高校生の意見表明や社会参画、自主活動を促進するとともに、活動を通して自主性、社会性を育成することになる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 中・高校生の意見を事業や施策に反映させていくとともに、学校や地域関係者との協力関係を確保していくうえで、引き続き区が実施していく必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 対象が中・高校生であるため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 中・高校生を対象とした事業である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 中・高校生向けの設備や事業を整備していく上での一定の予算措置が今後も必要である。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 地域中・高校生委員会の活動を充実させていくとともに、15年10月より7か所の児童館で、週2回、中・高校生が7時まで利用できるようにするとともに、中・高校生委員会の要望に基づく環境整備をすすめて行く。また、7か所の状況をふまえて、他の児童館での中・高校生対応を検討していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 既存の児童館の整備範囲では、スペースや設備の点で限界がある。中・高校生専用の利用時間帯や部屋の整備等を既存の児童館運営の中で工夫していくことが必要であるが、より根本的には専用の活動拠点のあり方を検討していく必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 地域中・高校生委員会の要望に基づき、中・高校生ルームや活動のための設備・環境整備が必要。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		年長児童と赤ちゃんのふれあい事業				整理番号	460		枝番号	3			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号			
係名		運営指導係				上位施策名		No					
予算事業名		児童健全育成事業		コード	43550		子どもの育成環境の整備		28				
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3)								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他										
	中・高校生												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		中・高校生が、保育園・保健センターの訪問や児童館の乳幼児対象事業への参加、学習等を通して乳幼児とふれあったり、保護者の出産・育児体験を聞いたりする。保育園、保健センター、中学校、主任児童委員、地域の協力者とともに取り組む。		活動指標名(式) (1) 事業実施児童館数 (2) 事業実施回数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		赤ちゃんや保護者との交流を通して、他者への関心や共感能力を高めるとともに、出産や育児への肯定感を育む		成果指標名(式) (1) 事業参加者数 (2)									
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
					計画		実績		16年度				
指標	活動指標(1)		館			6		6		8	10	60.0	
	活動指標(2)		回			24		40		50	60	66.7	
	成果指標(1)		人			240		350		500	600	58.3	
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			0		430		139	特記事項		
	(内)委託費		千円			0		0		0			
	職員数(正規 非常勤)		人			6.45	1.00	6.75	1.00	6.75	1.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	58,585		61,310		61,310		
		非常勤職員分		千円	0	0	2,935		2,935		2,935		
	総事業費 + +		千円	0	0	61,520		64,675		64,384			
	単位あたりコスト ÷		円			10,253,333		10,779,167		8,048,000			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円					430				
		特定財源計 +		千円	0	0	0		430		0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	61,520		64,245		64,384				
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		14年度より取り組みを開始し、成果を得られた。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		協力者である乳幼児保護者からは、中学生・高校生にとって貴重な体験になるとともに、自身にとっても、実際の中・高校生に触れることが、子どもの成長への期待感につながり、子育てへの肯定感を得られる機会になったという感想が寄せられている。										
	今後の予測		中・高校生の健全育成への関心は高まっており、事業への区民および関係者の期待は高くなっていくと予測される。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	166.7	14年度予算執行率%	
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	14年度より実施のため、前年度改革案はなし。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 中・高校生育成とともに、地域の異世代の交流や子どもと子育てを支えるネットワークづくりにとっても効果がある。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 中・高校生育成を目的とした事業であるため、受益者負担はなじまない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 中・高校生を対象として取り組むことで、効果が期待される事業であるため。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 今後、実施児童館数を増やしていくため。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 実施児童館数を増やすとともに、より効果的な事業内容となるよう改善や工夫を重ねる。中学・高校との連携を強めることで参加者増を図るとともに、地域の協力者の輪を広げていく。同時に、地域の子育て支援グループの事業への参画を促進し、協働で実施していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 阻害要因は特になし。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	実施児童館数を増やすため。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども家庭支援センター				整理番号	461		枝番号						
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094410		連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	373				
係名					子育て推進係			上位施策名		No					
予算事業名					地域子育て推進		コード	43750		地域子育て支援の充実		26			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 児童福祉法第1～4, 7, 35, 40, 45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行規則 (3) 杉並区子ども家庭支援センター事業実施要綱								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
	18歳までの子どもとその保護者、関係者。区内の児童福祉に関わる地域団体、関係行政機関。				活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)						
	子どもと家庭に関するあらゆる相談を、子ども自身と大人から受ける。各関係機関と連携をとり、子どもと家庭を支援するサービスの調整を行う。地域子育てネットワーク事業、母親クラブ支援などの地域活動を支援する。親の病気等で養育できない子どもを短期間預かる。(子どもショートステイ事業)				意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)						
子どもの不登校や虐待ケース、子育てで困ったとき、身近な所ですぐに相談ができる。関係機関の連携により、必要な支援が充実して行われている。子育て支援に関心・熱意のある区民が、自分の力を地域で発揮できる。				(1) 不登校、引きこもりに関する相談件数 (2) 虐待ケースの相談件数				(1) 不登校、引きこもりの相談のうち、解決につながった件数 (2) 虐待ケースの相談のうち、ケース会議が開催できた件数							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
							計画		実績		17年度				
指標	活動指標(1)		件	39		45		52		60		65	80.0		
	活動指標(2)		件	41		50		63		65		70	90.0		
	成果指標(1)		件	7		15		28		30		35	80.0		
	成果指標(2)		件	6		10		29		32		35	82.9		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,669		6,774		7,667		7,443		7,890		特記事項 子どもショートステイは、社会福祉法人に運営を委託している。	
	(内)委託費		千円	4,909		4,990		5,109		4,896		4,974			
	職員数(正規 非常勤)		人	2.30	1.00	2.30	1.00	2.00	1.00	2.80	1.00	3.00	1.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	20,891		20,891		18,166		25,432		27,249		
		非常勤職員分		千円	2,935		2,935		2,935		2,935		2,935		
	総事業費 + +		千円	29,495		30,600		28,768		35,810		38,074			
	単位あたりコスト ÷		円			784,615		639,289		688,654		634,567			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	9,186		9,396		9,670		9,896		9,874		
		特定財源計 +		千円	9,186		9,396		9,670		9,896		9,874		
差引:一般財源 -		千円	20,309		21,204		19,098		25,914		28,200				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		少子化のなか杉並区においても子どもの数は減りつつけている。しかしその一方で、子育て不安、家族の孤立、不登校、虐待といった何らかの問題を抱える子どもや家庭の急増を背景に、相談件数も年々増加している。14年度も、子どもからの相談、保護者からの相談、ともに増加した。関係機関と協力して支援にあたるケースも増え、14年度は連絡調整を行い129回のケース会議を開催した。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		<子どもから> ゆうラインだと話をよく聞いてもらえる。悩みを相談する所がなくて困っていたので良かった。話を聞いてもらって、少し気持ちがすっきりした。家族にはわかってもらえない気持ちを話せた等。 <大人から> ゆうラインに相談することで、子どもや自分の気持ちを冷静に見つめ直すことができた。子育てネットワークの関わりの中で、地域のいろいろな人と知り合いになれた。0歳の子どもの預けたい等。												
	今後の予測		現在の社会状況の中では、今後も様々な養育困難の問題(経済的困窮、育児不安、虐待、不登校、引きこもり、ひとり親、親の精神疾患、高齢者介護)を抱える家庭が増えると予測される。支援内容も、一面的な関わりではなく多面的な関わりが必要とされる。そのために、関係機関のチームケアの体制をつくり、関係機関の支援を調整するケースマネジメント機能の強化が求められる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	115.6	活動指標(2)の14年度達成率%	126.0	14年度予算執行率%	97.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	14年度も、ゆうラインへの相談は大幅に増えた。それと共に、不登校や虐待についての相談も増加した。専門相談につなげたり、関係機関と連携しケース会議を行い、解決を図った。地域子育てネットワーク事業は、行政間の連携関係が基本的に確立し、さらに区民との協働を進めるための方法を模索している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	専門相談(児童精神科医相談・心理カウンセラー相談)の回数が増え、多様な相談内容に対してより具体的な支援を行うことができた。地域の子育て支援を進めている児童館職員の専門性向上のため、子どもの発達基本講座研修やケースカンファレンスを行った。養育困難家庭支援では関係機関との連携が進み、必要なケースについては関係機関が集まり、ケース会議を開催することができた。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 保護者だけでなく、学童期から思春期の子どもも気軽に相談できる窓口として、貢献度は大きい。また、専門相談や関係機関との連携によって継続的な支援ができる。 区内40ヶ所で展開されている地域子育てネットワーク事業は、区民との協働を進め、地域の子育て支援策として有効である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 子どもショートステイ事業については、児童養護施設(社会福祉法人)への委託で実施している。虐待を始めとする養育困難家庭への支援は 区のサービスを多く使い、個人情報も取り扱うので区が行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 区内の18歳までの子ども、その保護者と関係者を対象としているため、対象の縮小もこれ以上の拡大も考えられない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 都の補助金を受けている必要度の高い事業であり、需要も高くコストダウンの余地はない。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 増加する相談件数に対応するとともに、保育園・児童館・学校等の日常的に子どもと関わる施設と保健センター・福祉事務所・児童相談所等の関係機関のケースマネジメントの推進や、予防とアフターケアも含めた総合的な対応ができるようにする。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 子ども家庭支援センターを、教育委員会も含めた子ども分野における全区的な調整機関として位置づけ、体制強化・機能強化することが必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現在、「ゆうライン(相談窓口)」を運営し、子育て相談から養育困難家庭の支援、児童虐待防止に対応している。昨今の相談件数の増加や相談内容の多様化から、今後ますます専門相談を充実していくことが必要である。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流事業				整理番号	462		枝番号				
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	375		
係名 事業係				上位施策名				No					
予算事業名 児童健全育成事業				コード	43550		交流と平和の推進				68		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				1 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区都市交流実施要領								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)								
	区内在住または在学の 小学4年生～6年生(吾妻30名、風連25名) 中学生(風連25名)				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 風連、吾妻両友好都市の児童とともに、班ごとの交流活動、町探索等の事業を実施する。				活動指標名(式) (1) 参加者数 (2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 子どもどうしの交流をととして、友好都市の文化、生活、風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図る。				成果指標名(式) (1) 応募者数 (2)									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績			16年度		
指標	活動指標(1)		人	75	70	55	54	80	55	98.2			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		人	144	108	75	69	90	60	115.0			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,830	4,806	5,164	2,914	5,046	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	15,730	15,706	16,064	13,814	15,946					
	単位あたりコスト ÷		円	209,733	224,371	292,073	255,815	199,325					
	財源	受益者負担分		千円	1,190	1,350	875	870	1,458				
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +		千円	1,190	1,350	875	870	1,458				
差引:一般財源 -		千円	14,540	14,356	15,189	12,944	14,488						
受益者負担比率 ÷		%	7.6	8.6	5.4	6.3	9.1						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度以降、吾妻交流会が2年越しでの相互交流となったため、杉並区実施の年(13年、15年)は魅力に欠けるためか応募者・参加者ともに少ない。また、風連の中学生交流も、14年度以降隔年実施(15年実施)となっている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		参加児童の保護者から「多くの友達ができ、充実したプログラムだった」「先方の町を知り、人や文化に触れる貴重な体験となった」との評価する声が寄せられている。										
	今後の予測		小学生の参加者が中学生になって、冬の交流会に参加するケースが多い。その傾向は今後も続く見込み。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	98.2	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	56.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	参加者定員をほぼ満たす状況であった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	プログラムのなかにテーマパークでのグループ交流を盛り込んだことにより、前回大幅に落ち込んだ吾妻交流会の参加者について、定員のほぼ9割を確保することができた。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: キャンプ等通常の野外活動と異なり、他都市の子どもどうしが生活体験を共有する事業は他に見られない。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 自治体間の交流であるため。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか	理由:			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 吾妻町との交流を2年越しでの相互交流に、また風連町との冬の交流を隔年実施にすることで、一定の経費削減を図ることができた。その他の事業についても一層の経費削減に努めるものの、大幅なコスト減は難しい。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 隔年実施等の形態の変化を受け応募状況の低迷化傾向が続くと思われる。PRの充実とともに、プログラム内容の工夫が一層求められる。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 魅力あるプログラムの実施については、経費の増加を伴う場合も考えられる。その際は、受益者負担のあり方について参加者の理解を得る必要がある。また、先方自治体の考え方や事情もあり、双方による調整も必要である。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	当面は、対象者の事業離れを避けるため受益者負担を現状程度に押さえながら、既定経費の効率的な運用により事業内容の工夫を図りながら維持する。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館事業				整理番号	463		枝番号	1		
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	377	
係名		管理係				上位施策名			No			
予算事業名		児童健全育成事業・地域子育て推進		コード	43550・43750		子どもの育成環境の整備			28		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 児童福祉法第1～7、35、40、45条							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則							
	18歳未満の児童及び保護者		(3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規程									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		自由利用、定例活動（工作・調理等）、小型特別行事（スポーツ大会・遠足・講演会等）、大型特別行事（まつり・キャンプ等）、子育てネットワーク事業（地域連携・シンポジウム等）、ゆうキッズ事業等による子育て支援活動		活動指標名（式）							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		児童館事業を通じて、児童の自主性・創造性が培われ、健やかに成長する。また、保護者が安心して子育てができています。		(1) 児童館年間延べ行事実施回数								
				(2) 児童館年間延べ行事参加者数								
				成果指標名（式）								
				(1) 行事参加率（年間行事参加者数 ÷ 年間児童館利用者数）								
				(2)								
指標	区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
					計画	実績		16年度				
	活動指標(1)	回	11,059	12,475	16,865	16,021	16,865	16,865	95.0			
	活動指標(2)	人	283,801	365,162	350,100	444,460	350,100	350,100	127.0			
	成果指標(1)	%	28	36	30	42	30	30	141.3			
成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,037	26,515	29,270	26,089	28,113	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	64.35 16.80	50.85 15.80	38.20 13.80	38.00 13.80	38.60 12.80				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	584,491	461,871	346,971	345,154	350,604				
		非常勤職員分	千円	49,308	46,373	40,503	40,503	37,568				
	総事業費 ++		千円	657,836	534,759	416,744	411,746	416,285				
	単位あたりコスト ÷		円	59,484	42,866	24,711	25,700	24,683				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金		千円	1,750	1,750	0	979	0			
		特定財源計 +		千円	1,750	1,750	0	979	0			
差引:一般財源 -		千円	656,086	533,009	416,744	410,767	416,285					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		児童館設置数(各年12月31日現在): 昭和45年 = 11館、昭和55年 = 30館、平成2年 = 40館、平成12年 ~ 41館 18歳未満児童数(各年1月1日現在): 昭和61年 = 98,222人、平成2年 = 84,706人、平成7年 = 69,662人、平成12年 = 62,023人、平成15年 = 60,473人									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		ゆうキッズ事業をはじめとする子育て支援事業、いじめ・不登校など子ども自身が抱えている問題に対する相談、中高生事業や調理・スポーツ活動等子ども主体の行事など時代の変化に対応した事業に対し、高い評価を得ている。また、保護者や地域の方々からの要望として、地域における子育て支援の拠点としての充実また、障害児童への対応の充実が求められている。									
	今後の予測		問題を抱えている子どものみならず、子育てに困難を感じている親への支援がより必要となる。子育て、子育ての困難への対応、さらには虐待や養育困難家庭への対応が求められる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	95.0	活動指標(2)の14年度達成率%	127.0	14年度予算執行率%	89.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	子どもや区民のニーズに沿って児童館運営の見直しをはかり、利用時間、利用日等の改善にむけ検討をすすめた。(開館時間の変更、第3土曜日をサンカード利用日から通常利用日に変更…平成15年4月1日より)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由:児童の健全育成を目指す児童館事業は、子育て支援、中高生事業等年々充実度を増している。とりわけ地域子育てネットワーク事業の充実によって、子どもと子育てを支える地域社会づくりに貢献できると考える。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由:学校、地域、関係公共団体、関係機関との連携・調整は今後とも区の大きな役割の一つである。児童館で実施する様々なプログラムについては、区民やNPOなどの民間の力に一部委ねていく方向である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由:行事にかかる経費のうち、参加者に利益が還元されるものについては、既に一部受益者負担を導入している。また、児童館行事の参加対象者は小学生が主体であることから、今以上の受益者負担は困難である。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由:児童福祉施設であり、そのなかで実施している事業の対象者は、変更できない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(区民との役割分担、協働) ▼	理由:子育てネットワーク事業、「ゆうキッズ事業」「地域中・高校生委員会」の充実等児童館事業を拡充する中での大幅なコストダウンは困難な状態であるが、児童館運営の中で、区民等の大幅な参加を促し、地域や区民の創意を活かして、コストを低減させていく工夫を凝らす。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 養育困難家庭の支援及び子育てネットワークの再構築 区民・NPOとの協働を図る。(15年度準備、16年度から本格実施、18年度までに区民企画プログラムを全プログラムの30%にする目標) 児童館事業に特色(乳幼児対象のゆうキッズ先行館、障害児利用促進重点館、中・高校生の利用促進重点館)を持たせ、多様化する区民ニーズに対応する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 職員の意識改革が必要。 協働する区民・NPOを発掘し、支援をしていかなければならない。職員の意識改革が必要である。 ハード面で環境が整っていない。当面小規模修繕で対応するが、各館の特色ある運営のためには、施設整備が必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 各館の特色ある運営のため、そのサービス対象(乳幼児、障害児、中・高校生)にあわせた施設整備が必要であり、その費用がかかる。NPOの発掘や、職員の研修にも一定の経費が必要である。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゆうキッズ事業				整理番号	463		枝番号	2					
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号					
係名				運営指導係				上位施策名		No					
予算事業名				児童健全育成事業		コード					26				
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 児童福祉法								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則								
	乳幼児親子				(3) ゆうキッズ事業実施要領										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)										
主に午前中の時間を活用して、乳幼児親子が児童館でくつろいだり遊んだりできる環境を整備するとともに、親子で楽しめるプログラムや相談活動を実施し、子育て支援を推進する。				(1) ゆうキッズ事業実施児童館数											
				(2) ゆうキッズ事業実施回数											
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)											
乳幼児親子が安心してくつろいだり、遊んだりするとともに、親子ともに友だちを作り交流する。また、乳幼児の保護者が、子育て情報を得たり、子育てへの不安を解消したりする。				(1) ゆうキッズ事業参加者数(保護者を含む)											
				(2) 乳幼児利用者数											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度				15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
							計画		実績			17年度			
指標	活動指標(1)		館			41		41		41		41		100.0	
	活動指標(2)		回			3,387		7,251		7,191		7,444		93.1	
	成果指標(1)		人			93,970				209,185		270,000		77.5	
	成果指標(2)		人	159,406	161,310				169,281				220,000		76.9
総事業費・コスト把握	事業費		千円					998		861		2,474		特記事項	
	(内)委託費		千円					0		0		0			
	職員数(正規 非常勤)		人			6.50 1.00		6.50 1.00		6.50 1.00		6.50 1.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0		59,040		59,040		59,040		59,040		
		非常勤職員分		千円	0		2,935		2,935		2,935		2,935		
	総事業費 ++		千円	0		61,975		62,973		62,836		64,449			
	単位あたりコスト ÷		円			1,511,585		1,535,927		1,532,585		1,571,927			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	0		61,975		62,973		62,836		64,449				
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		13年度から開始した。その結果乳幼児利用者数が増加し、滞在時間も長くなり、好評である。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		事業へのニーズは高く、現在実施していない夏休み等学校休業期間中や、午後の時間帯の実施への要望も寄せられている。												
	今後の予測		身近な居場所、遊び場、交流の場として、今後も高いニーズが予想される。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	99.2	14年度予算執行率%	86.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	13年10月より開始したため、前年度の改革案はない。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:乳幼児親子の居場所作りをすすめ、子育て不安を解消し、子育て支援を促進するため。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:引き続き区が実施していくとともに、地域の協力者や子育て支援グループ等、区民・NPOが事業に参画することで、充実を図っていく。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:乳幼児親子が気楽に身近な場所で集えるようにするためには、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:現在主な対象としている幼稚園、保育園に在籍していない乳幼児親子(区内乳幼児親子の約40%)の需要が高いため。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(区民との役割分担、協働)	理由:地域の協力者や子育て支援グループの参画によって、職員が直接従事する割合を減らす。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) PRを強めるとともに、行政の連携や、区民参画でサービスを向上させる。また、現在のゆうキッズよりも実施時間や期間を延長し、プログラムを充実させる「ゆうキッズプラス」実施児童館を7か所指定し、15年度中に3か所、16年度に7か所実施。その後、実施館を拡大していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 乳幼児親子にとって快適な環境やスペースが充分でない。冷房機の設置や遊具の充実、乳幼児専用スペースの確保等環境の整備をすすめていく。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	冷房機の設置等環境整備を進めていく。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		母親クラブ活動助成				整理番号	464		枝番号						
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094410		連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	378				
係名					子育て推進係			上位施策名		No					
予算事業名					地域子育て推進		コード	43750		地域子育て支援の充実		26			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 厚生省通達「国庫補助による地域組織活動要綱」 (2) 杉並区母親クラブ運営基準 (3) 杉並区母親クラブ活動費補助要綱								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				近隣地域を単位に母親達で構成され、児童館と有機的連携を持つ子どもの健全育成を図る団体。17団体と連絡会の計18団体、会員総数約504名。										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				母親としての資質の向上と地域の子どもたちの健全育成を図る母親クラブの活動を、児童館が協働して事業内容を推進するとともに、財政的に支援する。											
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				地域での交流と協力関係を深め、児童館との協働を基本にして、親としての力やノウハウを若い世代の親に伝え、地域での子育ての支え合いを進める。											
成果指標名(式)				(1) 活動助成件数 (2)											
成果指標名(式)				(1) 1クラブあたりの事業数 (2)											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画		実績		16年度				
指標	活動指標(1)		件	19		18		18		18		18	100.0		
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		回	59		61		62		64		63	98.5		
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	900		850		850		850		850		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,542		4,542		4,542		4,542		4,542		
		非常勤職員分		千円	1,468		1,468		1,468		1,468		1,468		
	総事業費 + +		千円	6,910		6,860		6,860		6,860		6,860			
	単位あたりコスト ÷		円	363,684		381,111		381,111		381,111		381,111			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	6,910		6,860		6,860		6,860		6,860				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和52年度に8団体で始まり、平成9年度24団体となったが、組織運営の負担から新規会員が増えず、13年度18団体となった。12年度に補助金額が大きく減額され、地域交流事業・子どもを対象とした事業は工夫して実施しているが、劇団委託・講演会などの多額の予算を必要とする事業は実施できなくなった。しかし児童館と協働し、若い世代の母親の子育て支援事業を行うなど新しい試みが行われ始めている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		予算案作成、決算報告について補助金額分のみにはできないか、新しい会員を増やすのが難しい。助成金の減額で劇の上演など予算が大きくかかるものは実施できなくなった。児童館のおまつりで出店をし、子どもたちにとっても喜んでもらえてやりがいがあった。他クラブとの交流を初めて行ったが、会員に好評だったので今後も引き続き他クラブとの連携を模索したい。												
	今後の予測		地域での子育て支援の充実を図るために、先輩ママとして、また区民自身による地域交流の主体者として母親クラブ会員に対する期待は増してくる。会員の拡大は難しい状況であるが、現会員の力を若い世代の母親の子育て支援に生かしていただく無理のない取り組みが必要である。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	18団体がそれぞれの地域で、親子や世代間の交流をはかる交流イベントや野外活動、絵本の読み聞かせや人形劇、ミニコンサートといった様々な文化活動、児童の育成や事故防止に関する講演会や研修活動を実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	貸出施設ではない児童館において、目的内団体主催の不特定多数を対象とした事業で、入場料や参加費を徴収することが難しく、改革に取り組めていない。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 母親たちの自主的な活動によって地域交流が行われ、地域の中で人のつながりが生まれ、子供向けの文化活動が行われている。また数ヶ所のクラブで児童館と協働して、若い世代の親向けの子育て支援の取り組みを始めている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ) ▼	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ ▼	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 団体の活動を支援する補助金という性格上、受益者負担は考えられない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ) ▼	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 平成12年度に助成金が大幅に減額されている。助成金のさらなる減額は困難である。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 母親クラブだけでなく、地域の子育て支援に寄与する区民の自主的な活動を応援する。特に子育て中の若い世代の親が、母親クラブや自主的な活動に取り組めるように配慮する。区施設利用によるバザーや参加費徴収事業の開催等について柔軟に対応する。 児童館で母親クラブ主催の事業(講演会、人形劇、活動費を得る事業など)を実施するにあたり、入場料や観劇料などを徴収できるのか、検討する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	地域の子育て支援の一層の拡充のために、区民の自主的活動である母親クラブの活動を援助する。また地域の中で、若い世代の母親に身近な子育て支援事業を行う機会を提供する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ運営				整理番号	465		枝番号						
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	379				
係名				管理係		上位施策名				No					
予算事業名				学童クラブ運営		コード	43350		子どもの育成環境の整備			28			
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		39 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 児童福祉法第6条								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例								
	親が共働きなどで留守家庭となる区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童及び六年生までの障害児						(3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				区内46学童クラブにおいて共働き等により留守家庭となる児童に日常活動を通じ、集団生活の中で自主性、協調性を促すよう援助指導を行う。また障害児の巡回指導を行う。		活動指標名(式)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				共働き等により留守家庭となる児童に対し、放課後の保育の場を提供することにより、親が安心して働ける環境を整備するとともに、児童の安全確保、知識や経験等を深める機会をつくる。		成果指標名(式)									
						(1) 入会希望児童者の入会率 = 入会者児童数 ÷ 入会児童申請数									
						(2) 入会障害児童数									
						(1) 入会希望児童者の入会率 = 入会者児童数 ÷ 入会児童申請数									
						(2)									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画		実績		16年度				
指標	活動指標(1)		人	2,037		2,062		2,325		2,139		2,325	2,320	92.2	
	活動指標(2)		人	61		59		70		69		70	78	88.5	
	成果指標(1)		%	92		93		100		95		100	100	94.6	
	成果指標(2)		%												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,538		16,799		13,043		12,371		13,550		特記事項	
	(内)委託費		千円	1,407		1,552		1,655		1,635		2,141		過去4年間学童クラブ待機児童数(各年4月1日現在) 平成11年度 38名 平成12年度 42名 平成13年度 49名 平成14年度 22名	
	職員数(正規 非常勤)		人	66.70	5.00	66.70	5.00	94.80	6.00	94.30	6.00	94.80	6.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	605,836		605,836		861,068		856,527		861,068		
		非常勤職員分		千円	14,675		14,675		17,610		17,610		17,610		
	総事業費 + +		千円	640,049		637,310		891,721		886,508		892,228			
	単位あたりコスト ÷		円	314,212		309,074		383,536		414,450		383,754			
	財源	受益者負担分		千円	19,621		39,259		63,072		61,929		63,072		
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	19,621		39,259		63,072		61,929		63,072		
差引:一般財源 -		千円	620,428		598,051		828,649		824,579		829,156				
受益者負担比率 ÷		%	3.1		6.2		7.1		7.0		7.1				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		学童クラブ入会者数平成8年度:2,019人、平成9年度1,870人、平成10年度1,937人、平成11年度1,983人、平成12年度2,037人、平成13年度 2,062人、平成14年度2,139人。対象児童数の減少傾向にも関わらず入会希望者数及び入会者数は増加傾向にある。対策として第二学童クラブ施設改修による定員増、学童クラブ登録制の試行、午後6時までの育成時間の延長や学校休業日の午前8時30分からの受入れを実施してきた。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		希望者の全員入会、保育時間の延長、障害児受入(人数、中学生)の拡大、学校への迎えを行ってほしいとの要望がある。												
	今後の予測		共働き世帯、ひとり親世帯の増加等により、入会児童数は年々増加する。ただし少子化傾向とあわせて予測した場合は、増加率が低下していくことも考えられる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	92.0	活動指標(2)の14年度達成率%	98.6	14年度予算執行率%	94.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	入会申請者の95%が入会している。入会申請者の内4%が不承認、取り下げ、辞退者、待機辞退者で、入会申請者の1%の方が待機者となっている。 予算執行率は、おやつ代助成扶助費の執行額が予算額より下回ったため					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	待機児解消のために、15年度は、3館で定員制に変え、登録制を導入した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、学童クラブへの入会希望者は、年々増加傾向にある。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由：				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：学童クラブは児童福祉法(第6条)等により小学1年生から4年生(10歳未満)と定められている。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(民営化・外部委託化)	理由：現時点の人員、運営費用でサービスを維持するためにはコスト削減は困難である。ただしNPO等民間業者等への委託または協働等が実現すればコスト削減は可能となる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 「児童館運営の仕組み及び学童クラブのあり方検討会」及び「児童館・学童クラブ改革具体化検討会」報告に基づき改革をすすめる。主には、学童クラブ待機児童の完全解消のため、学童クラブを定員制から登録制に変更する。民間活力の導入及び区民との協働を進め創造的で地域活力のある学童クラブにするため、学童クラブの委託を段階的に進める。利用料についても受益者負担の適正化を図る方向で検討していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学童クラブ登録制による、入会児童数の大幅な変動に対応できる、施設設備や受入れ態勢(人員)の整備 NPO等の協働を進める上での体制づくり					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	学童クラブの委託に伴う委託料(2クラブ分)の増と、委託化を実施する際の法人選定委員会の委員報酬費が新規に計上される。 老朽化した単独学童クラブの改修費、待機児解消を図るための第二学童クラブの整備費を予算計上する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高円寺北児童館改修				整理番号	466		枝番号	
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	130731	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	
係名					管理係			上位施策名	No	
予算事業名					児童館改修(高円寺北)			子どもの育成環境の整備	28	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14年度		根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1)			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)			
							(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				重度重複(身体および知的)障害を有する小学校1年~6年までの児童を学童クラブで受け入れるため、既存児童館(高円寺北児童館)を改修する。		活動指標名(式)			
						(1)				
						(2)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				重度重複(身体および知的)障害を有する児童の発達に貢献するとともに、児童の保護者への就労等に寄与する。また、学童クラブ入会の健全児をはじめ来館する児童にノーマライゼーションの意識を持たせる。		成果指標名(式)				
						(1)				
						(2)				
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)									
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			31,500	31,399		特記事項	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人			0.50	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	4,542	4,542		0
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	0	0	36,042	35,941	0		
	単位あたりコスト ÷		円							
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円				15,700		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	15,700		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	36,042	20,241	0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		重度重複障害(身体および知的)児童対応学童クラブ室として平成14年9月1日(定員6名)からスタートし、当初6年生1名・4年生・2年生計3名であったが現在2名の在籍である。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		15年度6名定員で2名在籍しているが定員に余裕があるので、広報「すぎなみ」等でPRしていく。重度の身体障害があるため、住所地等の学童クラブにおいて障害のない児童と同一条件・環境の中で育成が困難な児童ではあるが、医療的ケアを常時必要としない児童については、施設環境を整備した「学童クラブ」方式により、今後の需要予測を見ながら交通アクセス、施設のバリアフリー化等を考慮し設置していく。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%		活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	99.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか <input type="text"/>	理由:			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか <input type="text"/>	理由:			
	(3) 成果を向上させることができますか <input type="text"/> 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ <input type="text"/>	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか <input type="text"/>	理由:			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか <input type="text"/>	理由:			
	(6) コストを下げる余地はありますか <input type="text"/>	理由:			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由				